

Title	慢性歯槽骨髓炎（歯槽膿漏）其原因及「ワクチン」療法 二就テ（承前）
Author(s)	遠藤，至六郎
Journal	歯科學報，18(9)：46-58
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10130/1603">http://hdl.handle.net/10130/1603</a>
Right	

- 五 齒質ヲ汚染セズ黃色ナルヲ以テ識別シ得
- 六 無孔性ニシテ變化ヲ起サズ絶對永久的ニシテ水密的充填ヲナシ得
- 七 撤去容易ナリ
- 八 細菌管及根端孔ヲ密封シテ細菌ノ侵入ヲ許サズ
- 九 「レントゲン」線ニ不透明ナリ (Dominion Dental Journal, No. 6, June 1913.)

### ○慢性齒槽骨髓炎(齒槽膿漏)

其原因及「ワクチン」療法 (承前)

Chronic Alveolar Osteomyelitis (Pyorrhea Alveolaris) — its Causes and Treatment with Vaccine. — Continued. Leon S. Medalia. Translated by Dr. S. Endo.

ホストン エル、メタリヤ氏述  
大 連 遠 藤 至 六 郎 譯

#### 總括的結論

要之本症ノ原因ハ既ニ陳述セルガ如ク器械的原因及感染的原因ノ二者ニ歸著スベシ而シテ器械的原

因ノ條下ニテハ予ハ一般沈著物竝ニ石灰性沈著物ニ多大ノ注意ヲ拂ハント欲ス蓋シ此ノ二者ハ極メテ重要ノ主因ヲナスガ故ナリ尙ホ上記ノ二原因ニ附加スルニ不注意ナル齒刷子ノ使用及感染ヲ蒙レル器械ノ使用モ亦原因ノ一部分ニ算入シ得可シ

而シテ最モ重要ナル感染者トシテハ予ガ既ニ論ゼシガ如ク肺炎菌連鎖狀球菌葡萄狀球菌及加答兒球菌等ノ如キ膿性細菌ナリトス既ニ前段ニ於テ記載セルガ如ク本症ノ凡テハ決シテ只一種ノ細菌ノ作用ニヨリテ發生スルモノニ非ズシテ感染ノ原因タリ得ル性質ヲ具備スル諸多ノ細菌ノ作用ニヨリテ成立スルモノナリ

細菌ハ本症ノ持續ニ向テ重要ナル要素ヲナシ器械的原因ハ本症ノ初發ニ最大ノ關係ヲ占有ス而シテ本症ノ發生ニ向テハ上記諸原因ノ他尙ホ局所ノ抵抗減弱ヲ惹起セシムル諸事ノ全身的疾患ノ關與スルコトモ眞理ナリ

既ニ一度ビ全身疾患ノ結果トシテ本症ノ發生ヲ見ルヤ當該全身疾患ハ更ニ轉ジテ本症ノ持續ニ向テモ又重要ノ關係ヲ現出シ來ル

以上百十五例ニ對シ「ワクチン」療法ヲ施行シタル結果ハA表ノ如ク、治療回數及繼續日數ハB表ノ如シ

而シテ上記ノ諸表ニヨレバ治癒セル例症ノ數治療日數及回數ノ多寡等ハ一ニ本症ノ初發後經過セ

ル年限及程度ト直接關係アルコトヲ見ルベク特ニ前者即チ經過年限ノ長短ヲ以テ然リトナス  
 全例症ニ於テ最モ屢々現ハレタル重要ナル全身の疾患ハC表ノ如シ

「リユウマチス」性疾患ハ本症ノ進行程度ト何等カ一定ノ關係アルモノ、如シ

其他重要ナル疾患トシテハ所謂神經痛及腸胃疾患ナリ、凡テ患者ハ皆鼻感冒或ハ感冒ニ對シテ特  
 ニ感受性ナルモノ、如シ（就牀ヲ要スルガ如キ程度ノモノ）

其他種々ナル疾患例之バ喘息、糖尿病（二例）腎臟炎（三例）出血性紫斑（一例）等ニモ遭遇セシモ予  
 ハ此等ノ諸疾患ノ發現比例ハ尠少ナル點ヨリ觀察シ膿漏トハ何等ノ關係ヲ有セザルモノナルベシト  
 思惟ス

膿漏ト合併スル所ノ上記ノ如キ諸全身疾患ハ既ニ各表ニ於テ明カニ示スガ如ク極メテ重要ナルモ  
 ノナルト同時ニ現今及將來共ニ本症ノ成立及繼發症ニ關シ内科醫ト協議研究スベキ唯一ノ問題タル  
 ベキモノナリ

上記ノ全身性諸疾患ハ現時ニ在テハ只單ニ對症療法ヲ講ゼラル、ノミニシテ局所症候ニ對シテハ  
 何等ノ注意ヲ拂ハレザル状態ニ在リ尙本症ノ繼發症候ニ關シテ大ニ内科醫諸氏ノ注意ヲ喚起スルノ  
 要アルト同時ニ齒齦ニ對シテ齒科的診斷法ヲ講ズルニアラズンバ決シテ完全ナル理學的診斷ヲ做シ  
 得ザル事實ヲ絶叫スルノ必要アリ

A 表

期	%			症 數		
	治癒セルモノ	佳良	不良	治癒	佳良	不良
初 (第一類)	92	8	—	13	1	....
中 (第二類)	93	7	—	15	1	....
末 (第三類)	43	47	5	37	40	4

(備考) 末期ニ屬スルモノ、中三例ハ記載ヨリ漏レタリ尙一例ハ記録ナキ故略セリ

B 表

期	治 療 日 數			繼 續 日 數		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低
初 (第一類)	6	11	2	6 $\frac{1}{2}$ 週	12	3週
中 (第二類)	12	22	3	3 $\frac{1}{2}$ 月	7	2週
末 (第三類)	17	38	3	4 $\frac{3}{4}$ 月	9	5週

C 表

期	%			
	リユウマチス	胃腸障碍	皮膚病	慢性カタル
初 (第一類).....	35	50	14	7
中 (第二類).....	38	50	12	6
末 (第三類).....	53	50	13	5

結論

一 所謂齒槽

膿漏トハ其實慢

性齒槽骨髓炎ニ

外ナラズ故ニ此

事實ニ鑑ミテ療

病的手段ヲ講ゼ

ザル可ラズ

二、齒槽トハ

顎骨ノ髓様空隙

ノ擴大シヨルモ

ノニ過ギザルモ

ノニシテ所謂齒

根膜 Peridental-

membrane トハ

細菌學的檢索	オプソニン係數 Pn. Staph. Strep. Col.				結 果	他ノ症候
連鎖狀化膿球菌 肺炎球菌	—	—	—	—	當初極テ其果ヲ擧 グタルモ後ニ至リ 治療ヲ忘却セシタ メ再ビ惡シクナレ リ	
肺球、葡萄狀球菌	—	—	—	—	甚シク佳良トナ レリ	リュウマチス十尋麻疹
同 同	—	—	—	—	治癒ス 20 月	慢性便秘及頭痛
同 同	—	—	—	—	佳良	リュウマチス、空氣性 腸膨脹
連化球、肺球、二 三ノ葡萄狀菌	.69	.94	—	.68	極メテ佳良 19 月	同 同
連鎖狀肺炎菌	.53	.57	—	.80	治癒 15 月	腎盂炎及膀胱炎
連鎖化膿球菌	—	—	—	—	佳良	
	.69	1.20	.92	—	治癒	
肺球、葡萄球、二 三巨大菌	—	—	—	—	佳良、目下尙治 療中	慢性フルンケル
肺球、多數ノ長、 厚桿菌	.10	.72	.90	—	極メテ佳良27月	多發性關節炎
連鎖肺炎菌、葡 萄狀球菌	.52	—	1.22	.68	治癒 32 月	慢性便秘、慢性頭痛
肺炎、葡萄狀	.65	.71	—	.69	同 28 月	空氣性腸膨脹
肺炎菌	.70	.55	.97	.50	同 31 月	筋肉リュウマチス及ア ク子
肺炎、葡萄狀、二 三ノ連鎖	—	—	—	—	甚シク佳良トナ レリ	第三期關節性リュウマ チス性亞急性炎症性リ ュウマチス
肺炎、葡萄狀	.82	1.17	—	.68	治癒 24 月	全身性リュウマチス
葡萄狀、桿菌、連 鎖狀雙球菌	—	—	—	—	同 21 月	リュウマチス
肺炎菌	—	—	—	—	佳良	同
肺炎二三ノ桿菌 葡萄狀球	.82	.64	1.09	—	同	空氣性腸膨脹
Staph. Pneumo. in chains, few Stry. Pneumo. Strept.	.77	.58	.96	1.32	甚シク佳良	同及リュウマチス
	.58	.90	.93	.66	治癒 26 月	空氣性腸膨脹及潮紅性 狼瘡
連鎖肺球、葡萄 狀球、桿菌	.70	.47	—	.52	治癒 17 月	胃カタル、リュウマ チス
同上及巨大菌	.57	1.38	1.08	.76	治癒 15 月	第三期萎縮性關節炎、 各關節部形性關節炎及 空氣性膨脹
主トシテ肺球二 三ノ葡萄菌及連 鎖化膿球	.51	.60	.88	—	佳良	空氣性腸膨脹

No	患者名略	性及年齢	時 日	患 齒	治療 回数	治療 日數
31	W. L. A.	男 40	11-10	全部	?	?
32	F. A.	男 66	5-16-11	齒牙動搖及著明ナル退行 變性	7	三ヶ月
33	W. B.	女 46	8-18-10	全部	13	四ヶ月
34	M. F. B.	女 54	6-29-11	犬齒、小白齒特ニ著シク 他齒ハ微カニ犯サル	3	二週間
35	A. F. B.	女 63	1-12-11	上顎齒 1. 下顎齒 2.	6	四週間
36	A. A. B.	女 55	2-25-11	上下前齒著シ	11	三月
37	E. B.	女 28	9-14-10	下大白齒	3	十週日
38	J. P. B.	男 57	7-21-11	下顎切齒及一小白齒	2	二月
39	J. B. B.	男 47	12-23-11	殆ソド全齒牙	2	?
40	A. H. B.	男 46	4-30-10	下顎大白齒劇シク他ハ輕 度ナリ	8	一月
41	M. B.	女 26	11-1-09	變性著明ナリ	12	二月
42	J. H. B.	女 49	10-30-09	全齒	11	六月
43	L. A. B.	女 43	11-12-09	數齒 General Recession	14	三月
44	S. E. C.	女 72	10-26-11	數齒 General Recession	11	八週
45	F. C.	女 55	6-16-10	全齒	12	二月
46	H. S. C.	女 56	4-22-10	同	34	八月
47	R. F. D.	男 66	8-19-10	同	?	?
48	A. M. D.	女 34	11-30-09	數齒	26	五月
49	C. T. D.	男 55	4-13-11	下顎切齒甚シク他ハ輕度ナ リ	8	六週
50	C. J. D.	男 38	2-17-10	數齒	28	五月
51	J. D.	男 44	11-11-10	全齒極メテ不長	13	三月
52	A. E.	女 15	1-9-11	下顎前齒	33	五月
53	A. W. F.	男 53	4-22-09	數齒	7 (不正)	11月

細菌學的検査	カプソニン係數 Pn. Staph. Strep. Col.				結 果	他ノ症候
肺球活潑ナル數 葡萄狀球菌	—	—	—	—	極メテ佳良	胃カタル
葡萄狀球菌	—	—	—	—	治癒 15月	出血性紫癍
肺球、活潑ナル 數葡萄狀球	.70	.69	.84	.65	極メテ佳良	
肺炎菌、葡萄狀 球、桿菌	.74	.85	1.01	.88	微カニ佳良	腸膨脹、リウマチス
肺球、葡萄狀球 菌	—	—	—	—	不良	同 上
同 上	—	—	—	—	治癒 5月	同上及慢性フルンケル
同 上	—	—	—	—	極メテ佳良	カルブンケル、糖尿病 腸膨脹
主トシテ肺球、 二三ノ葡萄狀及 連鎖狀	.74	.61	.89	—	同	腸膨脹、リウマチス
肺炎球、葡萄狀、 連鎖狀	.50	.73	.85	—	治癒	リウマチス、慢性感 冒
肺炎、葡萄及巨 大	—	—	—	—	記載ナシ	
肺球、活潑ナル 葡萄狀	—	—	—	—	治癒 21月	リウマチス、濕疹
多數ノ長目短桿 菌M. Catarrhalis 及葡萄狀	—	—	—	—	同 21月	亞急性咽頭炎兼喉頭炎
肺炎球菌	.49	—	.83	—	同 26月	腸膨脹
同	1.34	.73	.90	—	同 26月	
Predominating Pneumo. in chains. few Staphy.	.52	.68	.88	.84	極メテ佳良	膀胱炎、リウマチス
Pneumo. Staphylo.	.61	.81	—	—	同上	リウマチス、空氣性 腸膨脹
Pneumo. Predo- minating, few Bacili.	.66	.77	—	.74	同上	同 同
肺炎菌	.83	.68	—	.74	佳良著明	リウマチス、腸管空 氣性膨脹
スタヒロ、カタ ール菌及多數ノ 雜桿菌	.81	.67	—	.73	僅カニ佳良	
主トシテ連、肺 炎菌、カタル 球菌	.61	.42	1.13	.74	治癒 33月	リウマチス、腸管空 氣性膨脹
連、肺炎菌、二 三桿菌	.51	1.06	1.00	1.02	同 28月	リウマチス



No	患者名略	性及年齢	時 日	患 齒	治療 回数	治療 日數
54	M. F.	男 51	10-25-15	數齒	6	五 週
55	A. F.	女 34	7-21-10	下右前齒	29	九 月
56	L. A. G.	男 40	3-31-10	全齒	12	十 週
57	H. G.	男 28	4-23-10	數齒	?	?
58	H. F. G.	女 35	7- 8-10	全齒	?	?
59	G. A. H.	男 37	3- 6-12	第一上大白、下左前齒	6	五 週
60	R. H.	男 42	3-21-12	動搖ノタメ十四個ノ齒牙 ハ缺如セリ尙二個殘存ス	27	三 月
61	W. W. H.	男 40	6-23-09	上顎齒全部、下顎ハ前齒 ノミ	6	五 週
62	A. S. H.	男 52	9- 9-10	下右大白齒	?	三 月
63	F. E. H.	男 59	4- 4-10	三齒ノミ	記載 ナシ	?
64	C. F. H.	女 50	10- 1-10	全齒	8	二 月
65	H. H.	女 33	11-12-10	同(急性)	3	一 週
66	S. E. I.	女 30	1-10-10	同	18	六 月
67	P. A. I.	男 36	1-12-10	四齒	19	五月半
68	J. T. J.	女 36	11-17-08	四齒	6	四 月
69	M. A. K.	女 53	3- 3-11	全	9	四 月
70	C. A. L.	女 64	10-19-09	全	13	四 月
71	W. S. L.	女 59	12-11-10	數齒	2	一 週
72	M. S. L.	男 52	2-24-11	全	3	二 週
73	T. R. McG.	女 36	8-19-09	下大白齒	22	四 月
74	A. J. McK.	女 46	2- 9-10	右下切齒	9	十 週

細菌學検査	オプソニン指數 Pn. Staph. Step. Col.				結 果	其 他 ノ 症 候
マタヒロ、肺炎	.62	.85	1.09	—	治癒 27月	慢性喉頭炎、十咽頭炎、 腸管空氣性膨脹
同 同	.78	1.02	.79	.84	佳良著明	腸風氣
肺炎、Predomi. few Staphylo 肺炎、 スタヒロ	—	—	—	—	治癒 5月	慢性フレンケル、慢性 氣管枝カタル、リュ ウマチス、腸風氣
肺炎、スタヒロ	—	—	—	—	佳良著明	腸風氣
同 同	.78	.85	1.04	.68	同	濕疹、リュウマチス
肺炎 Prodomi. スタヒロ	.68	.72	1.05	.72	治癒 28月	慢性氣管枝カタル、 後鼻腔カタル腸風氣
連肺、雙球	—	—	—	—	同 20月	リュウマチス、腸風氣
肺炎	.68	1.11	1.07	—	同 22月	腸胃障礙、リュウマチス
肺炎 Prodom. スタヒロ	—	—	—	—	佳良著明	リュウマチス、胃障礙
肺炎大雙球	1.00	1.10	.70	1.04	同	枯草熱 (Hay fever)
肺炎、Prodom. スタヒロ	—	—	—	—	佳良	濕疹、リュウマチス、腸 風氣
肺炎Yeast fungi 屬	.69	.87	1.03	.85	佳良ナラズ	慢性關節、リュウマチ ス、腸醗酵
肺炎 Prodomi. スタヒロ稀有ナル 桿菌	—	—	—	—	一回治療ノ後チ 中止	カタル、脂肪過多
肺炎 Yeast fungi ストレプト、 Prod. スタヒロ、 連肺、及雙球型 スタヒロ、肺炎	.52	.55	.85	.76	佳良	著明ナル腸風氣
スタヒロ、肺炎	.66	.80	.82	—	佳良著明	アブセス形成、胃障礙
スタヒロ、肺炎	—	—	—	—	佳良ナラズ	腸障礙
スタヒロ、肺炎	—	—	—	—	一回治療後中止	著明ナル腸風氣及乾癬
連肺炎、雙球、ス タヒロ	.52	.80	1.31	.67	治癒二十六月	糖尿病、消化不良
肺炎齒	.48	.57	.93	—	佳良著明	腸風氣
スタヒロ、肺炎	—	—	—	—	佳良	リュウマチス、腸風氣
肺炎、二三ノスタ ヒロ	.65	1.06	.76	.60	治癒二十一月	慢性咽頭痛
同 スタヒロ	—	—	—	—	佳良著明 九ヶ月	腸風氣
同 二三ノスタ ヒロ	—	—	—	—	治癒二十九月	リュウマチス、肛門瘻 孔
肺炎 マタヒロ	.73	.70	.42	1.28	同 八月	腸風氣

No	患者名略	性及年齡	時 日	患 齒	治療 回數	治療 期間
75	E. B. McL.	女 38	1-17-10	全	3	五 月
76	H. V. McL.	男 48	1-12-11	同	15	六 週
77	J. J. M.	男 44	2-24-12	三齒	11	二 月
78	F. M.	女 36	7-31-11	上下切齒二小白一大白齒	14	四 月
79	C. H. M.	男 43	3-29-10	下前齒、上白	28	八 月
80	C. M.	女 39	11-17-09	下左前齒、上右全部	35	七 月
81	F. M.	女 50	12-31-09	全	19	六 月
82	R. N.	男 45	1-19-10	下前齒、上大白齒	27	九 月
83	H. N.	女 47	2- 8-12	小、大白齒	15	五 月
84	W. J. N.	女 50	3-12-11	全	11	三 月
85	E. O. O.	女 42	6-21-09	後方齒全部	18	三 月
86	S. L. P.	女 64	5-29-11	殆ノド全部	?	四 月
87	C. C. P.	男 52	3-19-12	全	1	
88	W. J. P.	男 40	1-27-11	數齒	2	二 週
89	M. P.	男 56	11-28-11	全	16	五 月
90	M. A. R.	男 49	11- 1-11	一般的退行變性	6	二 月
91	D. P. R.	男 34	9-29-10	上前齒	1	—
92	J. C. R.	男 43	1-12-10	前齒	?	六 月
93	G. W. R.	男 41	12-15-11	全	12	三 月
94	S. J. R.	女 43	12- 2-09	全	5	三 週
95	D. P. R.	男 41	6-24-10	三大白齒	20	五 月
96	F. R. R.	男 57	6- 5-11	上下犬齒、小、大白齒	13	五 月
97	A. W. R.	男 61	1-26-10	全	7	二 月
98	C. H. R.	女 37	12-19-11	數齒	5	一 月

細菌學検査	カプロニン指數 Pn. Staph. Strept. Col.				結 果	其 他 の 症 候
肺炎、スタヒロ	.80	.96	—	.90	治癒二十八月	關節リュウマチス、腸風氣
連肺炎、雙球	.37	.78	.94	.84	佳良著明	蕁麻疹
肺炎、スタヒロ	.56	.72	.97	—	一回治癒後中止	慢性リュウマチス
肺炎	—	—	—	—	佳良著明	腸風氣、リュウマチス、慢性蕁麻疹
スタヒロ、肺炎螺旋菌	—	—	—	—	佳良著明	著明ナル腸風氣
肺炎、Prodomi スタヒロ	—	—	—	—	治癒十六月	胃障礙
多数ノスタヒロ、肺炎、連鎖スト レプト	.60	.82	1.02	1.19	同 三十六月	腸風氣
肺炎、スタヒロ	—	.59	1.03	—	同 十五月	リュウマチス、濕疹
同 同	—	—	—	—	佳良著明	リュウマチス、腸風氣
肺炎、スタヒロ、連鎖球、及多数、 長桿菌	1.36	.94	—	1.13	佳良著明	リュウマチス、腸風氣
肺、Predomi. ス タヒロ	—	—	—	—	治癒二ケ年半	リュウマチス、落屑性皮膚炎
連肺、スタヒロ、 マクロ	—	—	—	—	同 十九ヶ月	リュウマチス
肺炎、Muc. Cap- sul	—	—	—	—	同 九月	リュウマチス、腸醗酵
肺炎、大雙球菌	.65	1.03	—	1.24	同 一年半	同 腸風氣
肺炎、スタヒロ	—	—	—	—	佳良	頑固ナルリュウマチス
同 同	—	—	—	—	佳良	リュウマチス、腸風氣
大雙球菌、肺炎、 スタヒロ	.64	1.18	—	—	治癒十五月	リュウマチス、腸風氣

No	患者名略	性及年齡	時 日	患 齒	治療 回數	治療 期間
99	M. F. S.	女 59	10-19-09	全白齒	33	八 月
100	L. T. S.	女 34	1-28-10	全	28	十二月 不正
101	R. S.	女 37	9- 9-10	數齒	1	—
102	K. J. S.	女 42	4-14-12	全	3	三 週
103	W. H. S.	女 60	4- 4-12	全	3	十 日
104	J. H. S.	男 53	2-28-11	全	?	四 月
105	M. S.	男 40	3-30-09	數齒	25	五 月
106	F. M. S.	女 49	9-28-10	全	22	七 月
107	G. S.	女 50	1-22-10	下左大白齒、上右大白齒	12	二 月
108	W. P. S.	男 52	6- 8-11	全	27	八 月
109	A. B. S.	女 41	8-18-10	數齒	14	三 月
110	L. S.	女 35	9- 8-10	上下中切齒、山大白齒	16	四 月
111	G. M. T.	女 45	6- 4-11	下犬前齒、上下大白齒	26	七 月
112	C. A. V.	男 72	1-23-11	下左大白齒	8	二 月
113	L. W.	女 45	10-22-11	數齒	6	二 月
114	F. B. W.	男 49	10-12-11	同	7	二 月
115	F. H. W.	女 42	3- 2-11	全	7	三 月

齒槽腔内ニ齒牙ヲ吊垂スルノ任務ヲナス靱帶 Ligament ノ謂ナリ

三 器械の原因ハ本症ノ發生ニ對シテ重要ナル意義ヲ占有シ膿膿性菌ハ本症ノ持續ニ絶大ノ關係ヲ有ス(肺炎菌、連鎖狀並葡萄狀球菌 *M. catarrhalis* 菌等)

四 慢性齒槽骨髓炎 chronic alveolar Osteomyelitis ハ現時尙ホ特種ノ病原菌ヲ發見證明シ得ズト雖モ上記セルガ如キ諸菌ノ合同作業ニ依テ成立スル所ノ一種特異ナル疾患ナリ

五 全身性疾患ハ只單ニ本症ノ發生ニ對シテ二次的(若クハ繼發的)ノ關係ヲ有スルニ過ギズ然レドモ又同時ニ原因タリ得ルコトアリ又局所病的狀態ヲ繼發スルノ傾向ヲ有スルコトアリ

六 所謂「リユウマチス」性疾患ノ多數及腸胃障碍ハ予ノ意見ニヨレバ慢性齒槽骨髓炎(リツグス氏病)ト直接ノ關係ヲ有ス

七 食餌療法ト「ワクチン」療法トノ連用療法ハ全身疾患(特ニ「リユウマチス」性疾患)ヲ治癒セシムルカ若クハ輕快セシム

八 局所器械的療法ト「ワクシン」療法トノ連用療法ハ此ノ極メテ頑固ナル疾患即慢性齒槽骨髓炎ニ對シテ頗ル良好ナル結果ヲ齎ラス

(完)

(譯者曰、原文ニハ結論ニ對スルニ更ニ稍々詳シキ症例報告ヲ載セリ然レドモ前掲第一、第二、第三表ト大同小異ニシテ重複ノ嫌ヒアルヲ以テ省略セリ。尙ホ重要ナル參考文獻モ附記シアリシモ省略セリ本問題ニ關シ特ニ興味ヲ有セラル、同好ノ士ハ Dental Cosmos Jan. 1913 及 Dental Cosmos Feb. 1913 ナリ讀セラレタシ)